



# 2019年3月期決算説明会 補足説明資料

2019年5月30日

日本紙パルプ商事株式会社

---

# 2019年3月期決算の概況

## 連結の範囲

	国内	海外	計	前期末比増減
当社	1	-	1	-
連結子会社	24	45	69	+5
持分法適用会社	7	2	9	-
計	32	47	79	+5

### 主要な異動

Spicers Paper (Singapore) 及び Spicers Paper (Malaysia) の株式取得等

## 連結業績 P/L

### 《要約連結損益計算書》

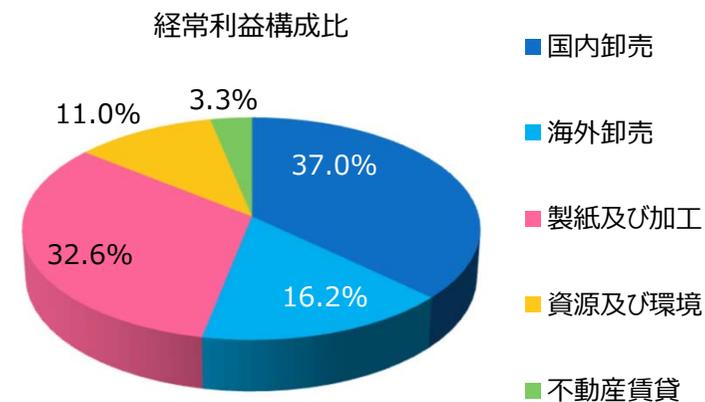
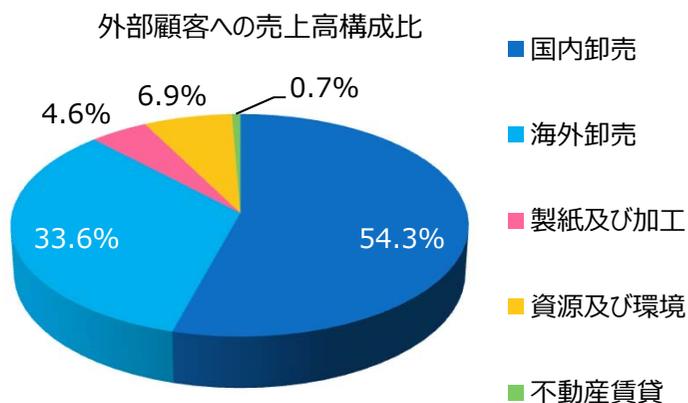
単位：百万円

科目	2018年3月期	2019年3月期	増減	前期比
売上高	521,526	535,495	+13,969	102.7%
売上原価	462,034	471,426	+9,392	102.0%
売上総利益	59,492	64,068	+4,577	107.7%
販売費及び一般管理費	49,367	53,264	+3,897	107.9%
営業利益	10,125	10,805	+680	106.7%
営業外収益	1,694	1,960	+266	115.7%
営業外費用	1,821	2,012	+191	110.5%
経常利益	9,998	10,753	+755	107.5%
特別利益	1,473	880	▲593	59.8%
特別損失	720	3,296	+2,576	457.9%
税金等調整前当期純利益	10,752	8,337	▲2,415	77.5%
法人税等	3,563	3,473	▲90	97.5%
当期純利益	7,189	4,864	▲2,324	67.7%
非支配株主に帰属する当期純利益	984	993	+9	100.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	6,204	3,871	▲2,333	62.4%

# 連結業績 P/L セグメント別構成

単位：百万円

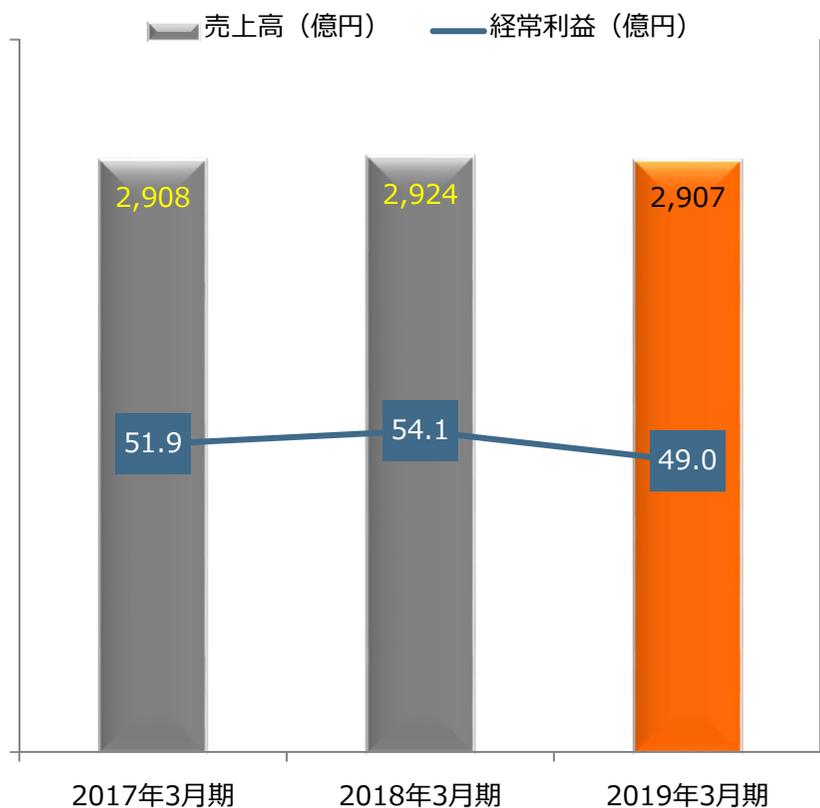
セグメントの名称	外部顧客への売上高			経常利益		
	2018年3月期	2019年3月期	前期比	2018年3月期	2019年3月期	前期比
国内卸売	292,429	290,724	99.4%	5,412	4,903	90.6%
海外卸売	162,643	179,664	110.5%	1,270	2,145	168.9%
製紙及び加工	23,277	24,455	105.1%	3,434	4,324	125.9%
資源及び環境	40,351	37,141	92.0%	2,041	1,462	71.6%
不動産賃貸	2,826	3,510	124.2%	602	432	71.7%
調整額	-	-		▲2,761	▲2,513	-
連結損益計算書計上額	521,526	535,495	102.7%	9,998	10,753	107.5%



## 【国内卸売】セグメント

単位：百万円

外部顧客への売上高	前期比増減 (前期比)	経常利益	前期比増減 (前期比)
290,724	▲1,705 (99.4%)	4,903	▲509 (90.6%)



### ◎売上高

紙・板紙の価格修正が寄与したものの、紙については需要の減少と自然災害の影響等、供給面が絞られたことによる販売数量減で、▲0.6%

### ◎経常利益

販売数量減やエレクトロニクス関連の落ち込みによる影響や、子会社における貸倒引当金繰入額および減価償却費の増加により、▲9.4%

### ◎ 2018年度のトピックス

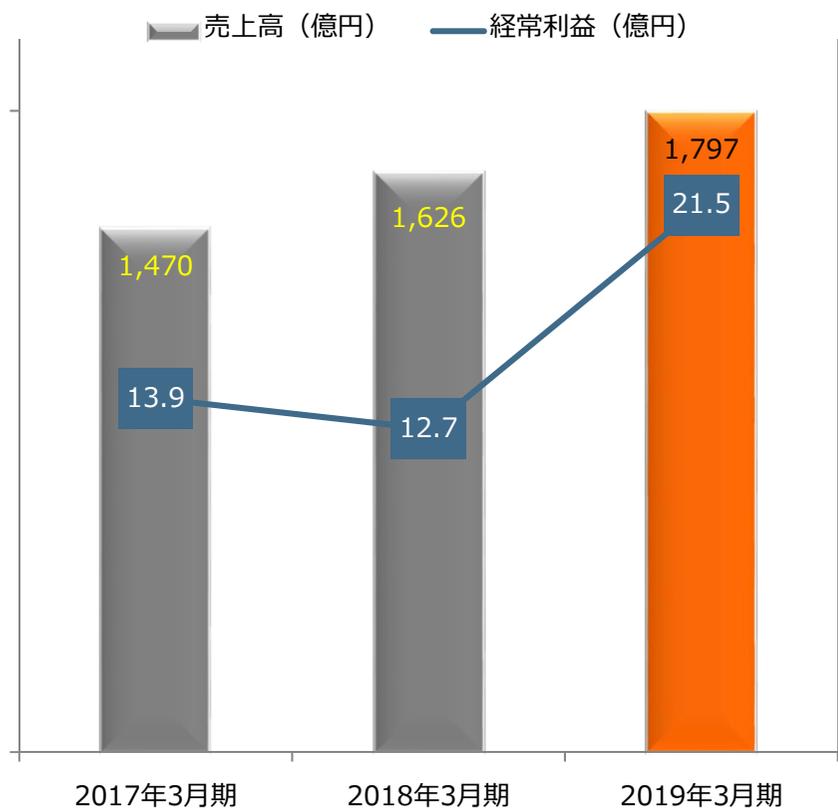
- ・環境に優しい生分解性プラスチック素材「BioPBS」使用の紙コップを開発
- ・国内卸商向けフォーラム「OVOL Bridges 2018」を開催



## 【海外卸売】セグメント

単位：百万円

外部顧客への売上高	前期比増減 (前期比)	経常利益	前期比増減 (前期比)
179,664	+17,021 (110.5%)	2,145	+875 (168.9%)



### ◎売上高

前第2四半期に連結子会社化した Ball & Doggett Groupの業績が期首より反映されていること、及び本邦からの輸出の増加等により、+10.5%

### ◎経常利益

米国子会社の販売が不振であったものの、Ball & Doggett Groupの業績が期首より反映されていることなどから、+68.9%

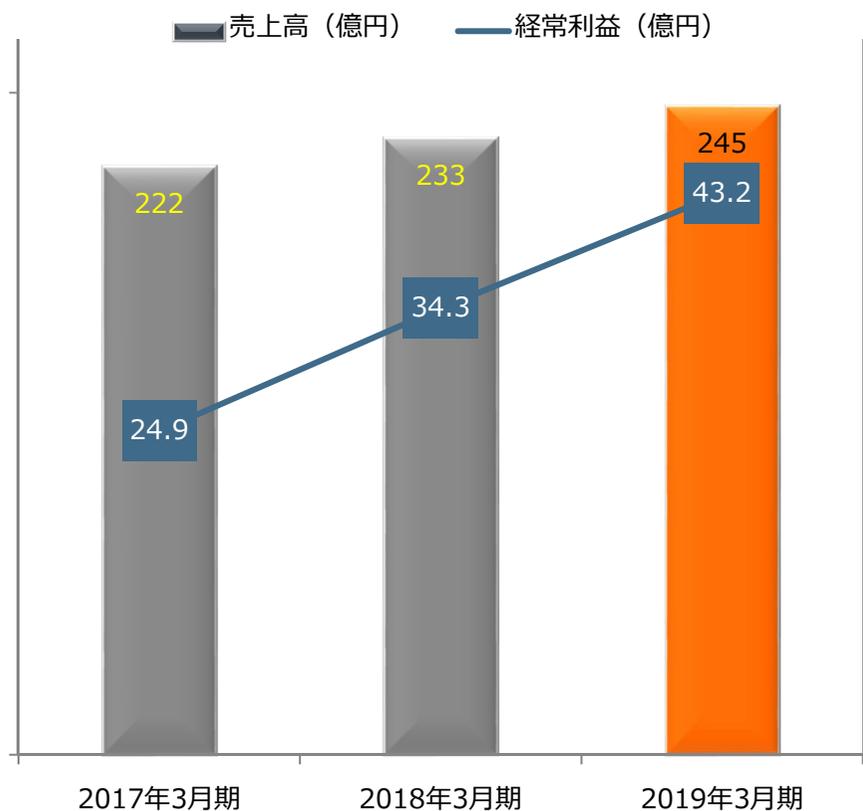
### ◎ 2018年度のトピックス

- ・Western-BRW、JAN SANビジネスに参入
- ・Spicers Paper (Singapore) および Spicers Paper (Malaysia)の株式を取得し、グループ会社化

## 【製紙及び加工】セグメント

単位：百万円

外部顧客への売上高	前期比増減 (前期比)	経常利益	前期比増減 (前期比)
24,455	+1,179 (105.1%)	4,324	+889 (125.9%)



### ◎売上高

再生家庭紙事業、板紙製造事業および海外段ボール加工事業の販売数量増加等により、+5.1%

### ◎経常利益

昨秋以降に原料古紙の価格上昇があったものの、その後安定したこと、段ボール原紙の価格修正が浸透したことにより、+25.9%

### ◎ 2018年度のトピックス

大豊製紙での原料設備更新工事完了、稼働開始



## 【資源及び環境】セグメント

単位：百万円

外部顧客への売上高	前期比増減 (前期比)	経常利益	前期比増減 (前期比)
37,141	▲3,209 (92.0%)	1,462	▲579 (71.6%)

### ◎売上高

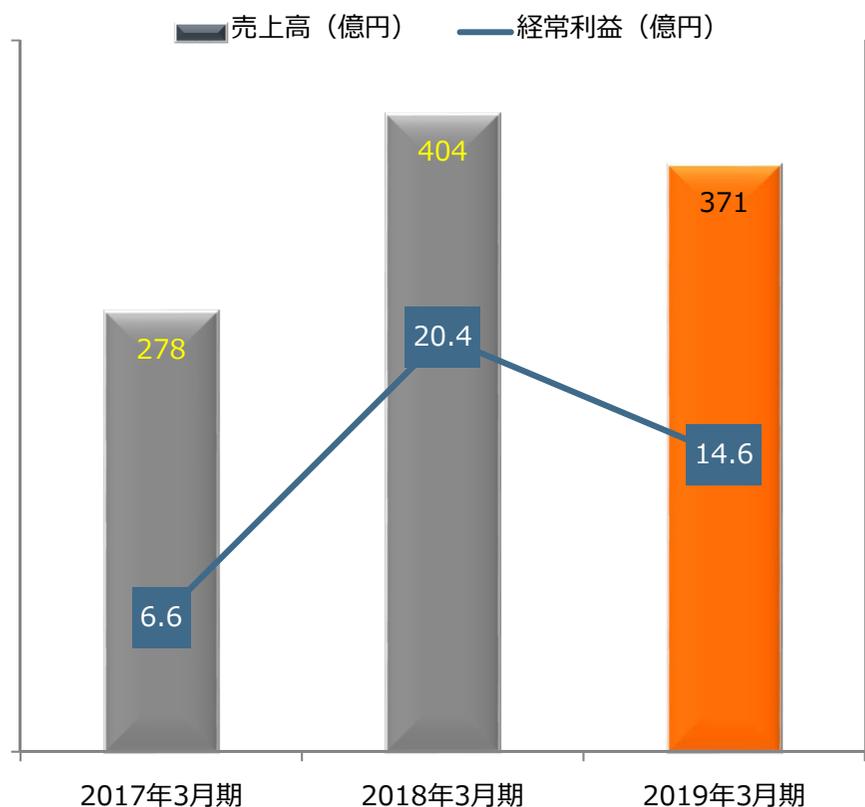
中国向け古紙の年末需要の高まりから収益は一時的に改善したものの、中国における廃棄物輸入規制による影響により、▲8.0%

### ◎経常利益

売上高同様の影響により、▲28.4%

### ◎ 2018年度のトピックス

- ・Papyrus Recyclingと合併でOVOL Fibre Solution Indiaを設立、営業を開始
- ・Japan Pulp & Paper (M)、マレーシアにおいてPKSの回収・販売・輸出事業を行うOVOL New Energyを設立、営業を開始

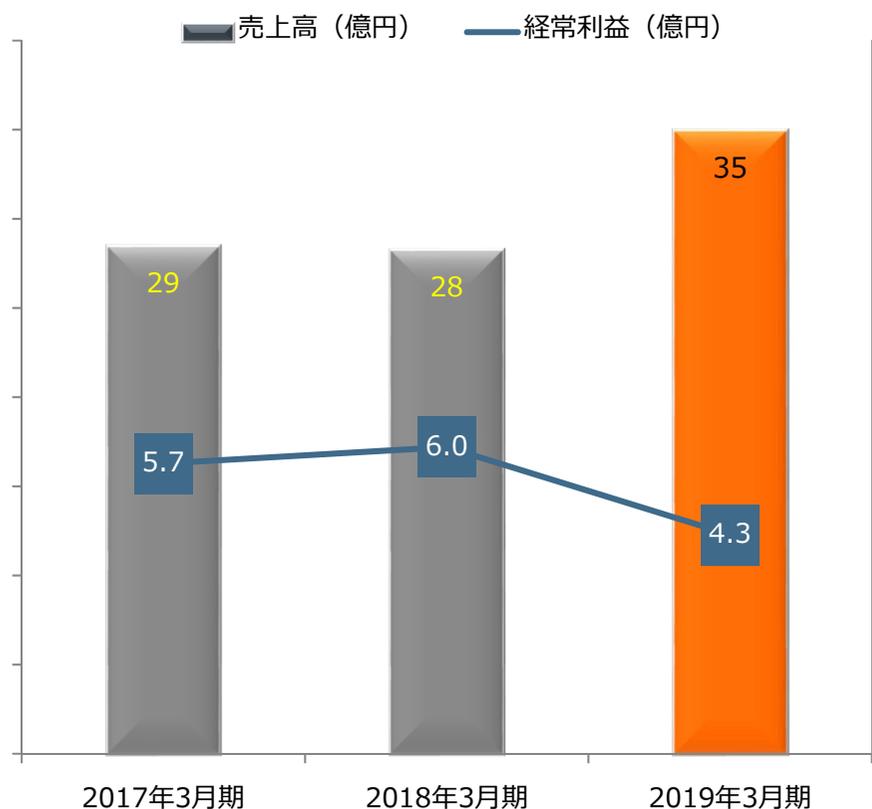


**OVOL**

## 【不動産賃貸】セグメント

単位：百万円

外部顧客への売上高	前期比増減 (前期比)	経常利益	前期比増減 (前期比)
3,510	+684 (124.2%)	432	▲171 (71.7%)



### ◎売上高

既存テナントビルの高稼働の継続や昨年6月30日に竣工したオフィス・ホテル・商業店舗からなる複合施設OVOL日本橋ビルの稼働に伴い、+24.2%

### ◎経常利益

OVOL日本橋ビルの減価償却費や不動産管理費等の費用が発生したものの、オフィステナントの賃料収入が順次発生したことにより、▲28.3%

### ◎ 2018年度のトピックス

- ・「OVOL日本橋ビル」竣工
- ・「OVOL京都駅前ビル」竣工 ※ホテル開業は2019年5月



**OVOL**

## 連結財政状態

### 《要約連結貸借対照表》

単位：百万円

科目	2018年3月期	2019年3月期	前期比増減
流動資産	185,461	191,553	+6,092
固定資産	151,806	158,062	+6,256
繰延資産	56	41	▲15
資産合計	337,323	349,656	+12,333
流動負債	190,784	197,344	+6,560
固定負債	51,803	57,566	+5,763
負債合計	242,587	254,911	+12,323
株主資本	76,729	79,160	+2,431
その他の包括利益累計額	10,238	7,416	▲2,822
新株予約権	217	217	-
非支配株主持分	7,551	7,952	+401
純資産合計	94,735	94,745	+10
負債純資産合計	337,323	349,656	+12,333
有利子負債	118,180	120,941	+2,761

## 連結業績 経営指標

	2018年3月期	2019年3月期	前期比増減
1株当たり当期純利益	429円20銭	274円69銭	▲154円51銭
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	426円83銭	273円12銭	▲153円71銭
自己資本当期純利益率 (ROE)	7.6%	4.5%	▲3.1ポイント
総資産経常利益率 (ROA)	3.2%	3.1%	▲0.1ポイント
売上高経常利益率	1.9%	2.0%	+0.1ポイント
純有利子負債	111,342百万円	113,086百万円	+1,744百万円
ネットD/Eレシオ	1.28	1.31	+0.03

2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しています。  
2018年3月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して1株当たり情報を算定しています。

## 連結業績 経営指標

単位：百万円

	2018年3月期	2019年3月期	前期比増減
営業活動による キャッシュ・フロー	8,698	13,660	+4,962
投資活動による キャッシュ・フロー	▲13,283	▲14,355	▲1,072
財務活動による キャッシュ・フロー	4,361	1,735	▲2,626
現金及び現金同等物の 期末残高	6,837	7,788	+951

## 連結業績予想

	2020年3月期予想	前期比
売上高	560,000百万円	104.6%
営業利益	13,300百万円	123.1%
経常利益	13,000百万円	120.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,500百万円	193.7%

### 売上高

- 「国内卸売」「海外卸売」「製紙及び加工」「不動産賃貸」で増収の見込み

### 経常利益

- 「海外卸売」「製紙及び加工」「不動産賃貸」において増益の見込み

---

# 今後の事業展開について

## 2020年3月期業績見込について（経常利益）

	前年度比	中計2019対比
国内卸売	減益見込	未達見込
海外卸売	増益見込	達成見込
製紙及び加工	増益見込	大幅達成見込
資源及び環境	減益見込	未達見込
不動産賃貸	増益見込	達成見込
合計	増益見込	達成見込

- 紙の需要は、出版用紙を中心に引き続き減少傾向
- 板紙は、依然として堅調に推移
- 機能材分野では、一時的に米中貿易摩擦の影響あり
- 脱プラスチックの動きから紙回帰、生分解性フィルムの活用などの動きが活発化
- 販売姿勢としては、紙・板紙とも価格を維持、利益率を確保していくことが最重要と認識
- 中計2019に対して、未達となる見込み

## 今後の事業展開 【海外卸売】セグメント

---

- 北米 (Gould Paper)  
一般紙のブローカレッジ事業で苦戦中  
リストラを進めマーチャント事業等への選択と集中を実行
- オセアニア (Ball & Doggett)  
当初想定以上に洋紙市場が縮小  
100%子会社化による一層のコスト削減、商流変更等によるグループシナジー拡大  
当社連結決算において、親会社に帰属する純利益が増益見込み (2Qから反映)
- アジア (Spicers)  
営業成績はほぼ計画通り進行中  
今期より通年貢献、既存グループ会社とのシナジー拡大
- 中国  
米中貿易摩擦により米国からの段原紙販売苦戦中
- 中計2019に対して、達成する見込み

- 段ボール原紙製造事業  
堅調な需要、原紙値上、原料古紙価格下落により好調維持～収益貢献大
- 家庭紙製造事業  
製造・販売は順調だが、物流費、人件費、家庭紙用古紙の上昇を見込んでおり、若干減益の見込み
- 中計2019対して、大幅に達成する見込み

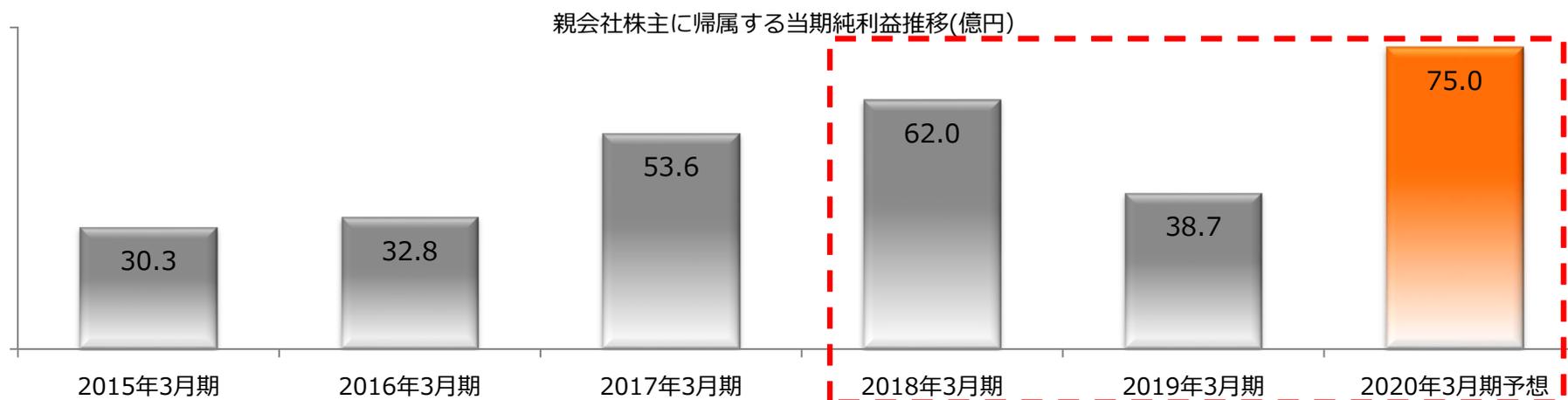
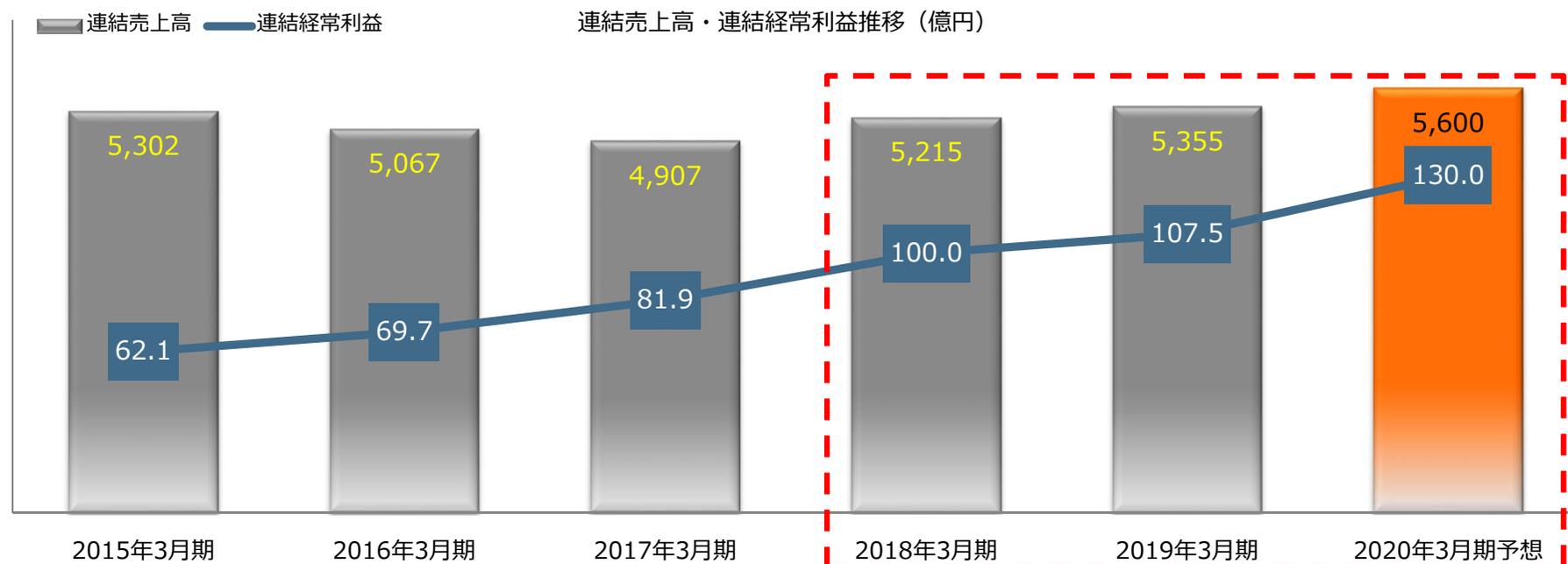
- 古紙再資源化事業  
中国での輸入規制等、国内・米国事業とも苦戦  
福田三商は中計2019の目標を上回る見通し  
福田三商に古紙再資源化事業を集約、事業全体の効率・収益力向上を目指す
- 再生可能エネルギーによる発電事業  
野田バイオパワーJP含めほぼ当初計画に沿った水準を期待
- 中計2019に対して、未達となる見込み

## 今後の事業展開 【不動産賃貸】セグメント

---

- 新規プロジェクトの竣工、収益貢献
- OVOL日本橋ビル（東京都）
- OVOL京都駅前ビル（京都市）
- 中計2019に対して、達成する見込み

# 連結業績の推移





# Paper, and beyond

本資料で記載されている業績予想は本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。  
経済環境や、市場動向、為替変動等に係るリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の業績予想と異なる可能性があります。